

半定量イオン試験紙 パーオキシド 100 (MN91312)

取扱説明書

国内総発売元

株式会社 アイシス

大阪市東淀川区西淡路1-1-36

TEL:06-6325-1406 FAX:06-6328-8995

ご使用前に必ず熟読いただき正しく使用してください。不注意/誤った使用方法・保管方法による不具合、カタログおよび下記《取扱上の注意》を含めた各種注意事項を順守されていない場合は責任および保証の一切を負いません。

《取扱上の注意》

1. 試験紙に触れる際は必ず研究用手袋を装着してください。指示薬により皮膚に炎症を起こす恐れがあります。
2. 測定後の試験紙の変色は、時間経過によって変化する場合があります。

《使用法》

1. 必要数の試験紙をアルミ容器から取り出し、直ちに容器の栓を閉めます。
2. pH2～9 に調整したサンプル溶液に試験紙を1秒間浸した後、取り出します。
3. 試験紙に付いた余分な液を取り除き、5秒後に測定部を容器外側のカラスケールと比較/照合し判定します。
4. 過酸化水素 (H₂O₂) の存在で測定部は白色から紺色に変色します。

《補足》

本試験紙は過酢酸や他の有機及び無機過酸化水素化物の定性が行えます。有機溶媒中の過酸化水素化物を測定するには、上記《使用法》同様にサンプル溶液に試験紙を浸し、測定部を完全に乾燥させてから測定部に蒸留水を1滴滴下し、カラスケールと比較/照合します。

《精度確認法》

本製品は使用期限の超過や長時間保管容器が密封されなかった等の不適切な保管条件で測定精度が大きく左右されます。定期的下記手順で精度確認を行ってください。

1. 30%過酸化水素溶液 1.5mL を蒸留水 1000mL で希釈します。
2. この溶液 3mL を蒸留水 500mL で希釈し、過酸化水素濃度 3mg/L に調整します。
3. ただちに本試験紙で測定します。
4. 数回作業を行っても試験紙測定値と 2. で調整した過酸化水素濃度が異なる場合は、残り全ての試験紙精度が落ちていきますので、適切に廃棄してください。

《妨害》

- pH2 未満の強酸性溶液の場合は酢酸ナトリウムを、pH9 超のアルカリ性溶液の場合はクエン酸を加えて pH5～7 に調整します。
- 他の強酸化剤が存在すると過酸化水素と同様の変色を示すことがあります。
- 以下の量のイオンは測定を妨害します。
 - ・ 3mg/L 超：遊離塩素 (次亜塩素酸イオン)
 - ・ 4mg/L 超：臭素 (Br₂)

《後始末》

使用後の試験紙や廃液は絶対に下水へ流さず、各自治体の条例に従い廃棄してください。

《保管》

日光および高温多湿に晒さず乾燥した+30℃以下の冷暗場所に保管し、開封後は速やかに使用してください。